わが家らしく、上質に暮らそう。

CREGARE
STYLE BOOK

暮らしは、外へと向かってゆく。

描いた暮らしのワンシーンは、ここにありました。

今、住まいやインテリアは、均質化・パターン化された形を抜け出してライフスタイルを表現する手段として位置づけられるようになりました。バルコニーは、そんな時代に残された、大きな可能性のひとつ。クレガーレは貴方が想う暮らしのワンシーンを、窓の外へと描いていきます。

SEKISUI SYSTEM DECK
cregare
STYLE BOOK

CREGARE STYLE BOOK

映画のような広いテラスは
望めないけれど、

「お茶の時間はバルコニーでくつろぎたい。」
「天気のいい日には星を見ながら夕食を。」
「家での仕事、気分を変えて楽しみたい。」

そんな気持ちをもつ人はけっこう多いはずです。

クレガーレ STYLE BOOK は、ありたい暮らしに向かって
一歩だけ踏み出す気持ちを贈る本。

少しだけ手を伸ばせば、
そこに新しい暮らしの可能性が広がっているのです。

INDEX

1 **2つのスタイルで見る 新発想バルコニーのかたち** 05
仕事に、趣味に、憩いの場に。広がるバルコニーの可能性
STYLE 1 SMOOTH TILE 06
STYLE 2 WRINKTONE 10
STYLE 3 MONO TILE 14

2 **インテリアデザイナーが考える「過ごしたい」バルコニーとは?** 16
インテリアデザイナー塚口眞佐子さんの
『リビング・バルコニー』考

3 **わが家仕様の「心地よさ」を生む グッドデザインたち** 18
イメージ通り、がきっと見つかる
クレガーレ全34種類ラインナップ紹介

2つのスタイルで見る
新発想バルコニーのかたち

1

STYLE 1
SMOOTH TILE

緊張感とリラックス。
ほどよいバランスが
心地よい
バルコニー・オフィス

STYLE 2
WRINKTONE

室内＋バルコニーを
ひとつながりの空間に。
そよ風が吹き込む
隠れ家サロン

STYLE 3
MONO TILE

都市に小さな庭園を。
坪庭を眺める
和の趣を愛でる
優雅なひととき

STYLE 1 SMOOTH TILE

バルコニー・オフィスのすすめ。

さあ、仕事をはじめようとバルコニーに出る。そんな暮らしも、あっていい。ここにしつらえた特等席に座ると、いつでも頭がクリアになる。洗練された表情のスムーズタイルは、大人のオフィスに似合う、ラスティックグレー色をチョイス。白とグレーのコーディネートは空間をすっきり見せるだけでなく、発想力を高めるのにも一役買ってくれる。シンプルなのに無機質にならないのは、やっぱり空との近さだろう。一見クールなコーディネートにも、柔らかな光のヴェールがかかると、息づくような温度が感じられる。少し仕事の手を休めて寝椅子にねそべり、のんびりと空を見上げる。この贅沢な開放感は、アウトドア・オフィスならでは。ゴムノキの仲間のフィカス・ベンガレンシスが涼やかな日陰をつくり、ひとときの安らぎを演出してくれる。ぐっと背筋が伸びるような緊張感と、心を解き放つリラックス感をひとつの空間に実現する。これも、バルコニーの秘めたパワーのひとつなのだ。

微妙な濃淡のあるシンプルな床色が、バルコニーの広がり感を強調。白を基調としたスタイリングの美しさも際立つ。

風の薫りが「自分」を呼び覚ます、
空の下のSOHOスタイル。

スムーズタイル | SMOOTH TILE

見る角度によって変わる微妙な濃淡は、表面に塗り重ねた釉薬の効果。石目調の風合いとともに、空間に独特の高級感を与えます。あとから敷設したとは思えないバルコニーとの一体感が特長。シンプルなラスティックグレー、明るいラスティックイエロー、落ち着いた印象のラスティックブラウンの3色のバリエーションがあります。

クール×リラックスの解答。

おもに自宅で仕事をするSOHOワーカーにとっては、適度な気分転換が必須課題。仕事部屋にこもりっきりでは、斬新なアイデアも生まれない。自宅に居ながら、さわやかな外の空気や、自然の移り変わりに触れ、リフレッシュしながら仕事ができる。それが、バルコニーオフィスの大きな効用である。

思いがけないひらめきに出会える「外」の効果。

すっきりとしたタイルの表情が生むプレーンな空間に色付けするのは、住まう人の感性。自分で選んだ雑貨や自然のやさしい色合いが、居心地のよさをプラスする。

気がつくと、一日をバルコニーで過ごしてしまっていたりする。仕事中のテーブルにポットのコーヒーを持ち込んで、お腹がすけば簡単な食事を、おいしい空気と一緒にいただく。時間とともに移り変わるのは、雲のかたちと、このタイルの表情。光の帯びる色合いによって、まったく違う魅力を見せてくれる。

陽の光を受けてすくすく伸びる、緑の健気さに気づいたり、吹きぬける風に、季節の匂いを感じたり。この場所で過ごしていると、自分の五感がフルに働くのが分かる。家の中にいては見えない、いろんなことが見えてくる。

「夏が近いな」「もう日暮れかな」。子どもの頃には当たり前に持っていた、そんな人間らしい感覚がよみがえってくる。時間に追われる生活で忘れかけていた、「自分らしさ」を思い出す。新しい発想は、こんな新鮮で懐かしい、小さな非日常から生まれるのかもしれない。

快適ワークスタイルのつくりかた。

太陽の下で、簡単エクササイズ。

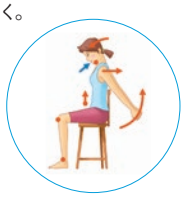
戸外に出て外気にふれ、太陽の光を浴びると心身が癒されるような気がします。これは、太陽光が全身と脳を刺激して、私たちの生命力を高めてくれるから。日光を浴びない状態が続くと、様々な弊害が起こるといわれます。私たち現代人は日中、人工照明の中にいる時間が大半。自宅で家事や仕事をしていると、一歩も外に出ない日もあります。そんな中で心身の健康を維持するには、意識的に戸外に出るよう心がけなければなりません。

そんなときこそ活用したいのが、バルコニー。趣味や仕事の時間をバルコニーで過ごせば、頭も体もリフレッシュして効率がアップします。それでも集中力が途切れたら、景色を眺めながら簡単なエクササイズを試してみましょう。身体の疲れを取り、頭をすっきりさせてくれます。

椅子に座ったままできる、簡単ストレッチ。

1 背もたれのある椅子に深く座り、両ひざと足首はしっかり揃える。下腹部を持ち上げる気持ちで背骨を伸ばし、肩甲骨のあたりを背もたれにあてておく。

2 椅子の後ろで手の指を組み、まず大きく一呼吸。次に、息を吸い込みながら頭を前に倒してあごを喉に押しつける。肘を伸ばし、腕を高く上げていく。上げきったら、息を吐きながらゆっくりと全身をゆるめていく。



3 次の吸い込みで、肩・肘は2と同様に、頭は後ろに倒して喉を伸ばす。伸びきったら、息を吐きながら、ゆっくりと全身をゆるめていく。

4 交互に繰り返して、体がほぐれたら椅子にもたれて目を閉じ、リラックスしてしばらく休む。

STYLE 2 WRINKTONE

上記写真はテーブルの脚部で高さを調節しています。
クレガーレ単体では高さを調節することはできません。

リンクトーン | WRINKTONE

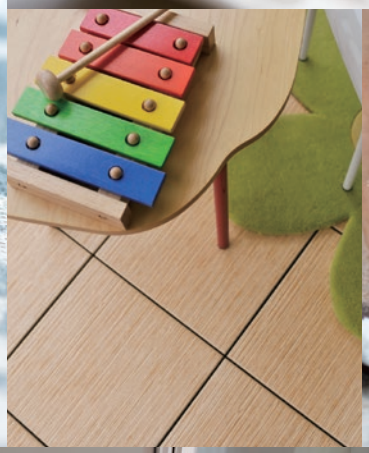
高級和紙をモチーフにした、気品ある意匠が特長のリンクトーン。櫛目調の自然な陰影が醸し出す高級感が、バルコニーに居室と同様の品格を与えます。モダンな空間に合うナチュラルホワイト、植栽を引き立たせるナチュラルベージュ、和風空間にも似合うダークグレー、上質な木材を思わせるダークブラウンの4色のバリエーションがあります。

ここは「空」にほど近い、パン工房。

パン作りに熱中して10年、夢だった「自宅パン教室」が叶ったのは、新築マンション購入がきっかけだった。広々としたキッチン、明るいリビング――そして何より、眺望のよいバルコニーが私の背中を押したのだ。バルコニーの床に、リビングの延長になるような上質な床材を敷けば、発酵や焼成の間、そこはカフェのテラス席のような開放的な“サロン”になる。パンの香りに包まれて、おしゃべりを愉しむ昼下がりは、至福のひと時だ。

開け放った窓から吹き込む初夏のそよ風が、生徒さんたちが焼くパンの香ばしい匂いをふわりと空間全体に広げる。足もとに心地よい床材に誘われて出たバルコニーでは、植えたハーブの香りが鼻腔をくすぐる。来週のレッスンは、ローズマリー入りのハーブパンにしようか。それとも夏の青空に似合う、甘夏ジャムを使ったパンがいいか。

「先生、いい感じに焼けました！」――さあ、にぎやかな“試食会”の始まりだ。



自家製ハーブでティータイム。
体と心を解きほぐす、極上のひと時。

上記写真はテーブルの脚部で高さを調節しています。
クレガーレ単体では高さを調節することはできません。

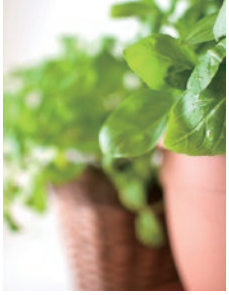
わが家の昼下がりに、新しい風が吹き込む。

こもった空間よりも、開放的な場所の方が、おしゃべりははずむもの。
フローリングと色調を合わせた上質感ある大判タイルを敷き、
リビングとバルコニーの境界線をあいまいにすれば、
そこはもう、ティータイムにうってつけの半屋外サロン。
焼きたてパンを食べながら、バランスよく配したハーブ類に
目を和ませるひと時は、きっとこの上ない幸福感をもたらしてくれるはず。

用意していたハーブティーに湯を注ぎ、バルコニーにせり出すように配したダイニングテーブルに移動する。今日の生徒さんはとくにおしゃべりが大好きな3人の奥さま。カップから湯気とともに、柑橘類のさわやかな香りが立ちのぼる。本日のハーブティーに使ったレモングラスは、さきほどバルコニーのポットから摘み取ったばかりのもの。ハーブの効能や育て方から、ハーブを使ったパンのレシピ、最近凝っているハーブ料理など、さまざまな方向へと話題ははずむ。いつもの昼下がりだけど、キラキラと輝く特別なひと時。うららかな陽光のもとで季節の移ろいを肌で感じ、他愛ないおしゃべりに身をまかせるこの瞬間が、私を幸福感で満たしてくれるのだ。

半屋外空間が幸せにしてくれるのは、私だけではない。週末は子どもたちのプレイルームとして、わが家を笑顔でいっぱいにしてくれる。育てているプチトマトに水をやったり、実った果実の様子をクレヨンで描いてみたり。もちろん私も週末のプレイルームを満喫する一人だ。パン教室後の“試食会”で食べすぎてしまった分を、ストレッチで取り戻す時間なのだ。

使い方にとらわれない。でも、どんな使い方でも心地いい。暮らしのシーンに彩りを与えてくれる――それが、わが家自慢のバルコニーなのだ。



語らいに華を添える、ハーブガーデン。

バルコニーでハーブ栽培。

料理やお茶にも使える彩り豊かなハーブで、バルコニーをにぎやかに。日射と温度を考えながら配置することで、すくすくと元気にハーブが育ちます。背丈、葉の形、鉢の色味など、バリエーション豊かに揃えることで、空間がぐっと華やぎます。

＊ローズマリー

日当たりと水はけのよい場所でよく育ちます。花はそのままサラダの飾りにしたり、砂糖漬けにしてケーキに添えて。枝葉は肉や魚をローストする際の香りづけに最適。

＊スイートバジル

初心者でも育てやすい、イタリア料理にぴったりの芳香を放つハーブ。刻みたての生葉をパスタやピザに添えて。湿り気のある豊かな土で、日当たりのよい場所で育てましょう。

＊レモングラス

高温多湿を好むハーブなので、秋～春は室内へ。生葉をハーブティーにしたり、エスニック料理の香りづけに。ローズマリーと合わせて、バスハーブとしても使えます。

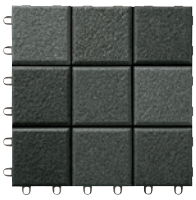
都市の坪庭という発想

STYLE 3
MONO TILE

和の趣と侘び寂びを知る

わずかな鉢の空間に景観を描く日本の伝統文化「盆栽」。現代の都市生活のその心を取り入れると、静かに自然に感じ入る時間が暮らしの中に生まれます。和室に雪見窓をしつらえた古人のアイデアに習って、バルコニーに移り行く四季をしつらえ、室内から眺め楽しむ。石の風合いを持つタイルが自然の彩りとマッチして、まるで一枚の絵のような風景を描き出します。

飛び石をイメージして部分的に
ホワイトを配置。



モノタイル | MONO TILE

タイルの質感を引き立てるモノトーンデザイン。
シンプルだからこそ質感が際立津表情豊かなタイル。
意匠性の高いデザイン住宅にもさりげなくマッチします。

2

自然との接点を失った現代の暮らし。残された可能性を、バルコニーに託す。

実益だけの場から、「過ごす」ための空間へ。自然を取り込み、暮らしを豊かにする新しい舞台としてのバルコニーを、インテリアデザイナーでもある女性建築家の視点から提案します。

インテリアデザイナー
塚口 眞佐子

Profile

（インテリアデザイナー、インテリアコーディネイター、二級建築士、相愛女子短期大学生活学科・神戸山手女子短期大学生活学科講師）
'51生まれ。インテリアコーディネイターとして活動後、'91塚口建築研究室開設。'92インテリア産業協会コーディネートコンテスト奨励賞受賞をはじめ、数々のデザインコンテストで受賞。建築設計からインテリア、店舗デザインまで、幅広い活動を展開している。

1 日本人と半屋外空間——光と風をどう取り入れるか

現代の住宅を考える時、光と風をどう取り入れるか、というのが大きなテーマになると思います。

私たち日本人は伝統的に、縁側や濡れ縁という独特の半屋外空間を持っています。これは、建物と外部との境界をあいまいにし、家の中から見れば室内の延長、庭から見れば家の中に招き入れられるような印象をもつ構築物です。ここで月見や夕涼み、ひなたぼっこ、近所の人との語らいなどが行われてきました。つまり屋内にありながら、自然や屋外生活との接点だったのです。

しかし、住宅条件の制約された現代の都市部では、暮らしはますます自然とも地面とも遠ざかりつつあります。広い庭のある住宅が望みにくくなり、集合住宅が一般的な住まいとなりつつある環境の中で、外界との近しい関係を維持する手段として、バルコニーを活用する必要性は高まるばかりです。

2 暮らし方が変わる。バルコニーも変わらなければ。

一般的にはまだまだ物干し場として使われることの多いバルコニー。お天気の良い日には布団を干すという光景も日常的です。しかし、徐々にですが布団干しの光景も減り、洗濯物の干し方も控えめに変わりつつあります。これは、集合住宅で何らかの規制がかかり始めたという他に、ベッドの使用など暮らし方の変化、外観やデザイン性など、人々の住まい観の変化に伴う動きではないかと思われます。

今まで生活上の実益部分としてしか認識されなかったバルコニーですが、これからは、ちょっとだけ用事を果たすために出る場所ではなく、そこでゆっくり時間を過ごすことのできる場所にしていくことを考えましょう。そのためには、物干しやゴミの仮置きに多少の工夫が必要です（#A）。

たとえば洗濯物の干し方ですが、バルコニーからの外への視線を遮っていた洗濯物を低い位置に移すだけで開放感がまるで違います。最近は物干し台もホームセンター等で多彩に販売されており、低めでデザインの良いものを選べば生活感が出ません。ゴミの仮置き場も、パンチングメタルやウッドフェンスなどを上手に使って目隠しすれば、美観を損ないません。市販品を上手に使って、自分流にスタイリングを楽しみましょう。

#A

市販のウッドフェンスなどを利用して、ゴミ置きスペースをすっきりと目隠し。

なるべく生活感が出ないよう、低めのシンプルな物干し台を。

3 バルコニー＝空中リビングという発想 ——リビングの延長としてのバルコニーをつくる

自然や外部の世界とのつながりを半屋外空間に求めると、バルコニー＝空中リビングという発想が生まれます。バルコニーをもっと上手に、積極的に活用すれば、自然を取り込みながら、広々とした感覚が楽しめるリビングが誕生します。

バルコニーに室内リビングがそのまま広がったような一体感を与えるには、いくつかの視覚的な配慮と設計上の工夫が必要となってきます（#B）。

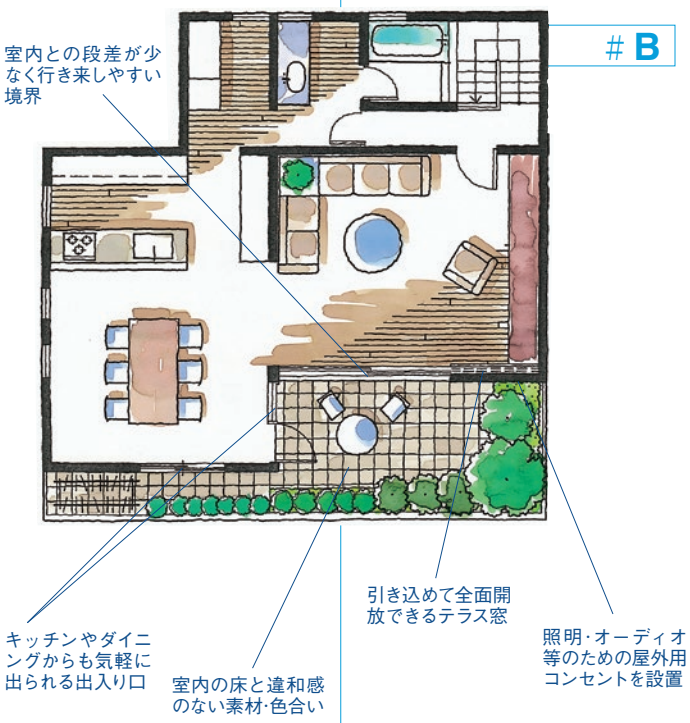
しかし、バルコニーをリビングとして活用しようとする際、もっと肝心なことはお手入れです。新築時にはどの住宅も必ずといっていいほどバルコニーやデッキに対する要望は強いのですが、実際には年月が経つにつれ次第に使われなくなり、何か荒れた印象になっていきます。

その原因は、人が頻繁に出入りしなくなるところにあります。室内で履いていたスリッパのまま、あるいは裸足のままバルコニーに出られる気軽さがなければ、徐々に利用頻度が減っていくのは当然です。

屋外はもちろん室内より砂埃がたまります。そこで掃除がしやすい床材を選び、こまめに掃除することが必要になります。日常的なお手入れはおっくうさが先にたちますが、その引き換えに気軽にバルコニーに出て積極的に楽しめる暮らしが始まるのです。

■室内と一体感のあるバルコニーづくりのポイント

視覚的に	・バルコニーの仕上材に室内と違和感のないものを選択すること ・室内インテリアも、バルコニーに向かって広がるような設計にすること
設計上の工夫	・室内とバルコニーの段差を少なくすること ・テラス窓はできるだけ大きいものにすること（できれば引き込める構造が望ましい） ・リビング（及びキッチン）とバルコニーのつながりに無理がなく自然に流れるようであること ・照明器具の設置、及びオーディオや調理のための屋外用コンセントの設置



4 用途に応じた上質バルコニープラン

バルコニーを永く快適に利用するためには、住まう人の好みや用途に応じて、柔軟なプランニングをすることが重要になりますが、それには大きく分けて二つの方法が考えられます。ひとつには、半屋外、つまり自然との接点という特性を生かして、意識して積極的に自然を取り込む方法です。

もうひとつは、先ほどお話しした「空中リビング」という考え方にのっとり、半屋外ながら、より室内の延長としてインテリアに準じた感覚で整える方法です。この二つの方法を用いたスタイリングを、おもに後者に重点を置き、いくつかヒントを交えながらご紹介しましょう。

大きめのコンテナーに植え込んだ庭木。
冬場に枯れても風情のある木を選べば、寂しくならない。

1.自然を取り込むスタイリング

ガーデニングの流行で、以前と比べるとバルコニーを自然に親しむ場所とする捉え方が広く浸透してきました。身近なところでは、植栽を並べて季節の花を楽しむ方法などが一般的ですが、大きめのコンテナーを利用するとかなり大きな樹木も育ちます(＃C)。夏には茂った葉で日陰を作り、冬には落葉する庭木などでより自然を楽しむことができます。

屋根のかかったバルコニーでもコデマリやユキヤナギ、アジサイなどの低木なら大丈夫ですが(＃D)、構造上荷重が心配なバルコニーもあるので配慮が必要です。

木を植えることで室内リビングからの眺めも抜群によくなり、住宅地でも人目を気にせずにバルコニーに出られるので、暮らしがより自然に近づきます。

2.セカンドリビング としてのスタイリング

これまでにも、第二のリビングとしてのバルコニー活用を提案してきましたが、次は具体的に、バルコニーをリビングのようにくつろげる空間に演出する方法をご紹介します。建築物の延べ床面積に算入されないバルコニーを有効に活用すれば、建築コストを抑えて広々とした空間を確保することができます。バルコニースタイリングの3つの手法、「囲う」「敷く」「置く」の各テーマに視点を合わせて、室内とひとつながりの居心地のよいリビングを作ってみましょう。

＃D

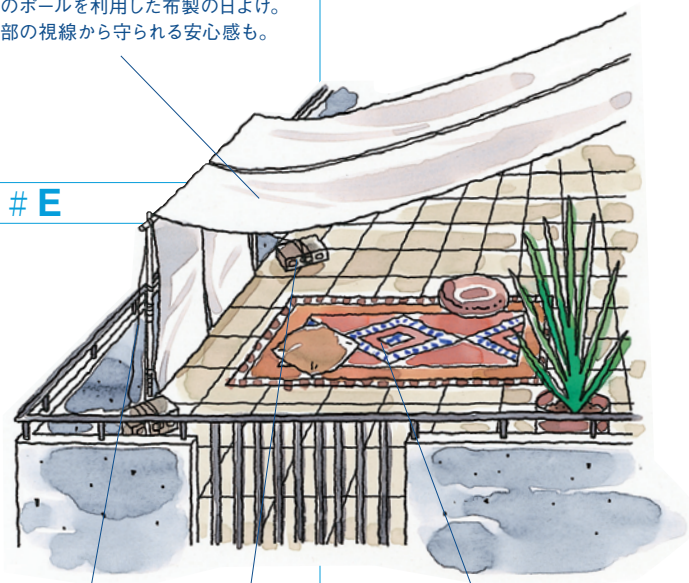
屋根のかかったバルコニーでも、コデマリやユキヤナギ、アジサイなどの低木を選べばコンテナーで十分に育てられる。

「囲う」

室内感覚にするからには何か囲まれた印象が欲しいものです。屋根のないバルコニーの場合は、オーニング(日よけテント)などを設置するのがおすすめです。店舗やカフェなどでよく見かけますが、住宅用も最近多彩に出回っています。これは既製のものをサイズオーダーするのですが、ポールを立ててフレームを作りテント地などを張って手作りの天蓋を作る方法もあります(＃E)。布の選択やたるませ方などでリゾート感覚が生まれたりシャープな表情も作れたりし、取り外して洗うなど手入れが簡単という利点もあります。

また屋根がある場合、サイドを囲うスクリーンを吊り下げると、ストーブやヒーターの使用で冬の夜でも十分暖かく過ごせ、オールシーズン使用可能なまさにもうひとつのリビングが誕生します(＃F)。

＃E

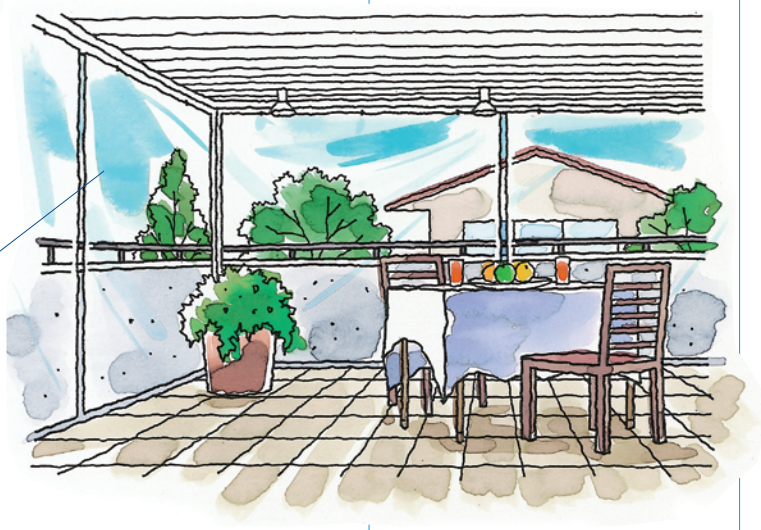


市販のテント用帆布と、ステンレス等のポールを利用した布製の日よけ。外部の視線から守られる安心感も。

安全性を考慮して、フェンスにワイヤーでしっかり固定。

コンクリートブロックのおもしをつけるなど、風に飛ばされない工夫を。

キリムは中近東で伝統的に作られている平織りの織物。毛足のあるカーペットに比べ、丸めて持ち運びできる気軽さがポイント。



市販のビニールシート。透明のものを選べば、開放感を損なわない。

ビニールシートで作ったスクリーンを屋根から四方に吊り下げるだけで、気候を気にせず活用できる室内感覚のバルコニーに変わる。

＃F

「敷く」

一般的に集合住宅のバルコニーの床はコンクリート床が多く、掃除が行き届いていたとしてもやはり室内履きのまま出るには抵抗があるものです。室内の延長とするなら何か床らしい表情が必要です。

例えば床材を敷設することで室内との段差が少なくなり、よりいっそう室内との一体感が生まれます。床材には木製デッキ、タイルなど、様々な種類がありますが、いったん敷設すれば長く持たせるものになるだけに、耐久性、お手入れのしやすさなどの機能性と風合いに優れたものを選ぶことをおすすめします。その上で室内と同じ感覚でスタイリングしましょう。

例えばキリム。これは中近東の平織りのカーペットで、モダンにもカジュアルにも応用でき、リビングに使われることが増えているもの（#E）。現地ではラフに床に敷いて使われているので、その感覚で石張りやタイルの床に敷くと非常にマッチします。バルコニーに常時敷きっぱなしにするのは無理がありますが、たためば簡単に収納できるので、時には持ち出してその上に寝そべる、あぐらをかくなど、現地仕様の使い方をしても楽しいもの。インド綿のラグなども安価でお手軽です。これらはリビングの延長感を強め、バルコニーに誘い出してくれる小道具となります。

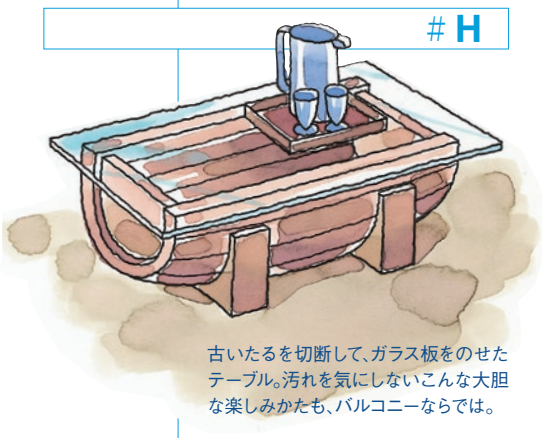
「置く」

バルコニーをリビングとして、また人の集まる場や、趣味のアトリエ、工房など、状況に応じて様々な用途に使用する場合、多目的に使えるものが常時置いてあると便利です。ベンチなどが一般的ですが、一例としては石うすがあります。水を張って植物を活け込んだり、台をのせてテーブル代わりに使ったり、パーティーではワインクーラーになったり、と活躍します（#G）。この類いで昔の農器具やたるなども、室内のインテリアのイメージに関わらず合わせやすいのでおすすめです（#H）。

しかしいずれの場合も気を付けたいのは、危険性。特に小さな子供がいる場合不慮の事故にもつながります。また、高層階では下からの強風が思いもよらない被害をもたらすこともあります。バルコニーに物を置くことは、状況に応じて慎重に検討したいものです。

たとえば、石うすをワインクーラー代わりに。素朴な表情が外の自然に馴染み、意外なほどバルコニーに似合う。

#G



#H

古いたるを切断して、ガラス板をのせたテーブル。汚れを気にしないこんな大胆な楽しみかたも、バルコニーならでは。

5 バルコニーのメンテナンス

バルコニーの床材は、見た目の美しさとともに足ざわりの良さが求められますが、雨ざらしになることも多く、屋外では特に耐久性、耐水性、耐候性が要求されます。特に天然木を素材に用いた製品であれば、どうしても日頃のメンテナンスが欠かせません。天気の良い日には気軽に水で洗い流せるよう、排水性の良いものを選びたいところです。タイル系やプラスチック系の床材の場合、普段の掃除以上の特に積極的なメンテナンスは不要ですが、建物本体の防水層のメンテナンスのためにも手軽に着脱ができるものを選んでおくと安心です。バルコニーをいつまでも美しく機能的に保ち、自分らしく快適なバルコニーライフを楽しんでください。

※本文内に記載しているスタイリング(バルコニーにテント地を張る等)を集合住宅等で実践される場合は、管理組合等にその可否をご相談の上、安全面に十分注意して行ってください。
※詳しい施工やプランに必要な商品については、専門施工業者・ホームセンター等にご相談のうえ、スタイリングをお楽しみください。
※万一、事故やケガ等が発生しても、当社では責任を負いかねますので、ご了承ください。

3 わが家仕様の心地よさを生む グッドデザインたち

住まう人それぞれのセンスや使い方を最大限に生かす、豊富なバリエーション。
美しいデザインはもちろん、確かな品質へのこだわりが
いつまでも快適なバルコニーライフを支えます。

高級和紙をモチーフにした櫛目調
デザイン。凛とした表情の中にも
上品な和みが感じられ、
眺めとしての空間価値を高めます。

釉薬を塗り重ねた味わい深い濃淡が
ひとクラス上の高級感を演出。
都会的なイメージの
アウトドアリビングに。

様々なサイズのバルコニーにフィットする
アースカラーの150角デザイン。
タイルが水を吸収し、
夏でも爽やかに過ごせます。

タイルの質感を引き立てるモノトーン。
シンプルだからこそ際立つ質感が
本物へのこだわりを表現。
デザイン住宅にもマッチします。

Beautiful design

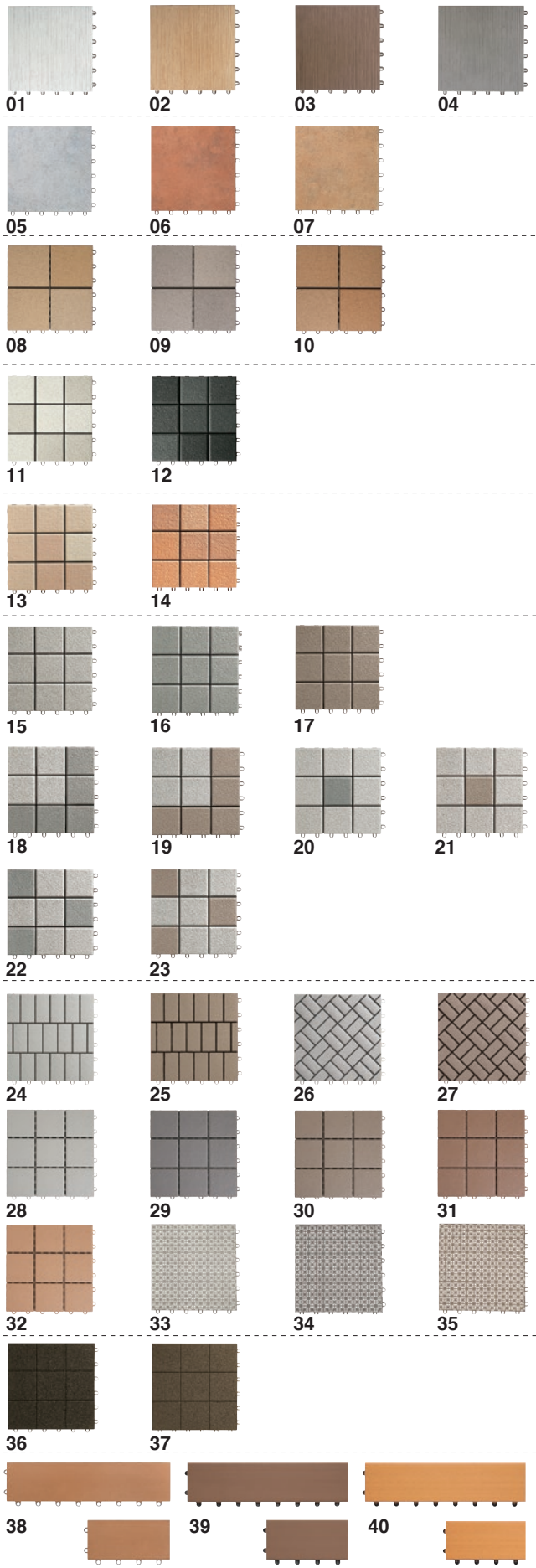
花や植栽の緑とやさしく調和する
素朴であたたかみのある色と風合い。
穏やかな色調で飽きのこない
デザインです。

天然石を思わせる質感と落ち着いた
色調でスタイリッシュな印象。
ポイントのあるタイプを選べば、
表情豊かな空間に。

大地を思わせる重厚な色調が、
心安らぐ空間を演出。
ソフトな足ざわりが、家族の暮らしを
やさしく見守ります。

木の素材感はそのままに、耐久性を
高めた新素材のウッドデッキ。
木粉や樹脂を利用した環境にも
優しい製品です。

Variation



WRINKTONE

01 ナチュラルホワイト[NW]
02 ナチュラルベージュ [NB]
03 ダークブラウン [DB]
04 ダークグレー [DG]

SMOOTH TILE

05 ラスティックグレー [RG]
06 ラスティックブラウン [RB]
07 ラスティックイエロー [RY]

RYOKAN TILE

08 アースイエロー [EY]
09 アースグレー [EG]
10 アースブラウン [EB]

MONO TILE

11 ストーンホワイト [SW]
12 ストーンブラック [SB]

TERRA TILE

13 ペールベージュ [PB]
14 グレインベージュ [GB]

BLICK TILE

15 S型・ウォームグレーミディアム [WGM]
16 S型・グレーミディアム [GM]
17 S型・ブラウンミディアム [BM]
18 L型・グレーミディアム [GM]
19 L型・ブラウンミディアム [BM]
20 O型・グレーミディアム [GM]
21 O型・ブラウンミディアム [BM]
22 E型・グレーミディアム [GM]
23 E型・ブラウンミディアム [BM]

PLASTICS

24 P1 レンガタイプ・ニュートラルグレーライト [NGL]
25 P1 レンガタイプ・ブラウンミディアム [BM]
26 P2 クロスレンガタイプ・ニュートラルグレーライト [NGL]
27 P2 クロスレンガタイプ・ブラウンミディアム [BM]
28 P5 タイルタイプ・ニュートラルグレーライト [NGL]
29 P5 タイルタイプ・グレーミディアム [GM]
30 P5 タイルタイプ・ブラウンミディアム [BM]
31 P5 タイルタイプ・マロンブラウン [MB]
32 P5 タイルタイプ・イエローベージュ [YB]
33 P4 ネットタイプ・ニュートラルグレーライト [NGL]
34 P4 ネットタイプ・グレーミディアム [GM]
35 P4 ネットタイプ・ブラウンミディアム [BM]

RUBBER

36 ブラウンダーク [BD]
37 オークダーク [OD]

Rifare EX

38 ブラウンベージュ　600タイプ　300タイプ
39 ミディアムブラウン　600タイプ　300タイプ
40 ライトブラウン　600タイプ　300タイプ

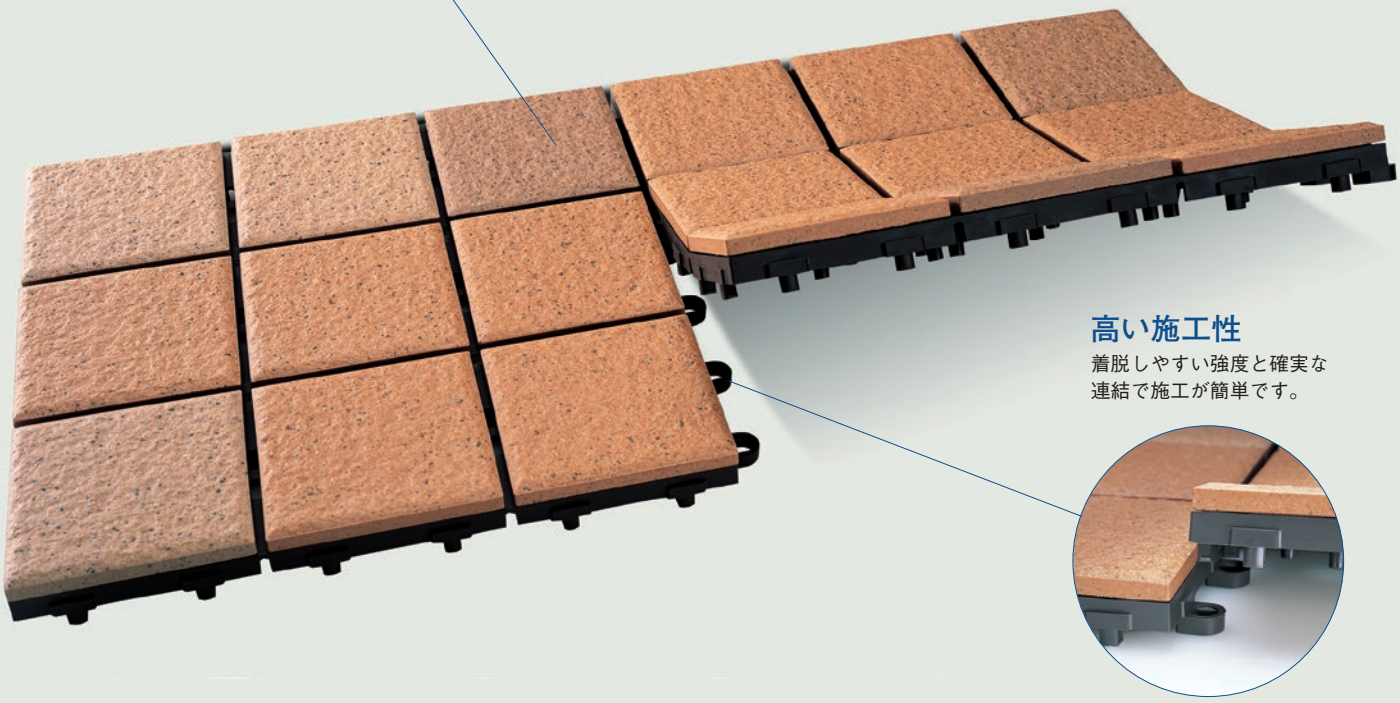
and More…

品質の確かさが、心地よさの理由です。

表面からは見えない性能も、上質なバルコニーのための絶対条件。
住宅との調和、メンテナンス性、そして安全性。全てが揃って始めて、
デザイン＋αの快適バルコニーが生まれるのです。
住まいを科学するセキスイならではの、確かな品質がここにあります。

周囲との自然な調和

建物の外壁や植栽との調和を考えた
ナチュラルカラーを採用しました。

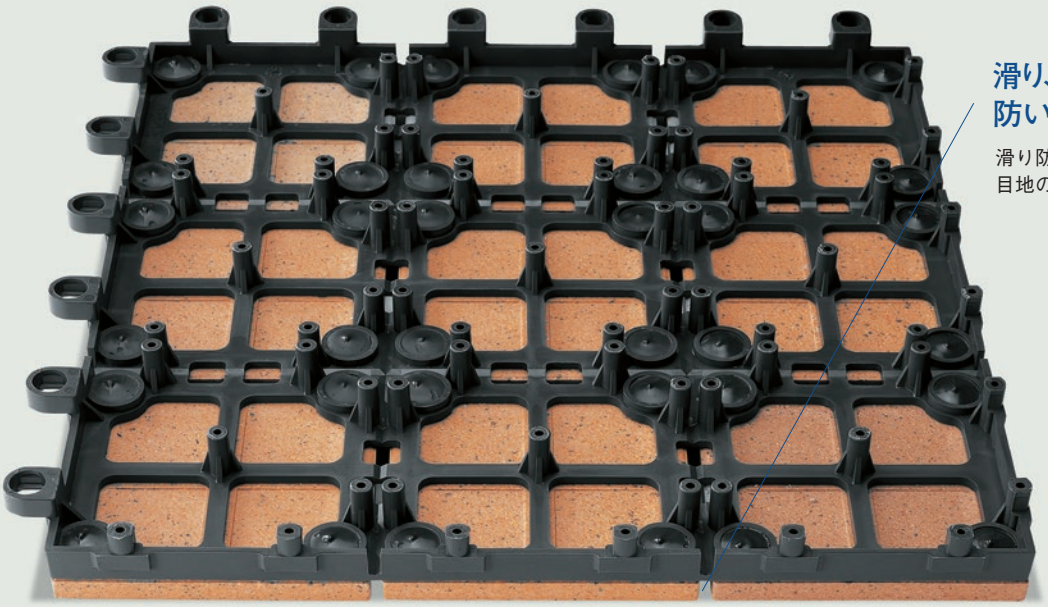


高い施工性

着脱しやすい強度と確実な
連結で施工が簡単です。

クリーンな排水性

高い裏足が十分な排水空間を確保。
悪臭や下地の腐食を防ぎます。



滑り、つまずきを防いだ安全性

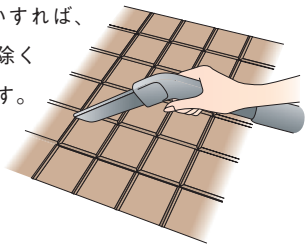
滑り防止の表面加工を施し、
目地の隙間にも安全性を考慮。

バルコニーをいつまでも美しく、快適にお使いいただくために

暮らしに近いバルコニーとは、すなわち、室内に近いバルコニー。いつでも気軽に出られるリビング感覚のバルコニーを保つために、小さなお手入れからはじめてください。

ごみやホコリが詰まったとき

小さなごみやホコリは、掃除機で吸い取ってください。多量に溜まった場合は、クレガーレ本体をはずして水洗いすれば、きれいに取り除くことができます。

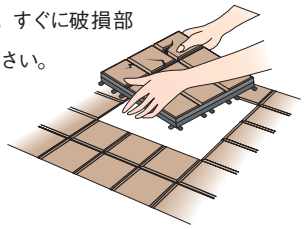


汚れたとき

ゾウキンで水ぶきするか、スポンジやブラシで水洗いしてください。汚れが落ちない場合は中性洗剤で洗い流したのち水洗いし、酸素系・塩素系洗剤や漂白剤はご使用にならないでください。

割れたり破損したとき

破損した部分を取り外し、新しいものと交換してください。特にタイルが割れた場合は、破片でケガをしたりバルコニーの下地を傷つける恐れがあります。すぐに破損部をお掃除ください。



For your comfortable balcony life

バルコニー作りに、お手本はありません。
「その人らしい表情」に、人は和み、集まります。

自分が心地よく過ごせるように作り上げた場所は、
あなたの周りの人も、きっとそう感じるはず。
作りこむスタイリングではなく、
「あなたらしいね」と話題になるような
バルコニー作りを楽しんでください。

スタイルブックが、新しく始まるあなたの
バルコニーライフのきっかけになることを願って。

積水化学工業株式会社 住宅システム事業部 東京都港区虎ノ門2-3-17(虎ノ門2丁目タワー) 〒105-8450

積水化学北海道(株)	北海道札幌市東区北37条東29丁目6-15 〒007-0837 TEL:011(785)3321
東北営業所	宮城県仙台市若林区新寺1-4-5(ノースピアビル) 〒984-0051 TEL:022(298)6044
北東北事業所	岩手県盛岡市盛岡駅前通15-20(ニッセイ盛岡駅前ビル) 〒020-0034 TEL:019(624)6000
東京営業所	東京都港区虎ノ門2-3-17(虎ノ門2丁目タワー) 〒105-8450 TEL:03(5521)0661 TEL:03(5521)0659
関東営業所	埼玉県さいたま市大宮区宮町1-114-1(ORE大宮ビル) 〒330-0802 TEL:048(646)0165
新潟事業所	新潟県長岡市喜多町川原1164-1 〒940-2121 TEL:0258(28)8311
甲信事業所	長野県松本市深志1-1-15(朝日生命松本深志ビル) 〒390-0815 TEL:0263(38)1220
横浜事業所	神奈川県横浜市港北区新横浜3-6-12(日総第12ビル) 〒222-0033 TEL:045(474)1813
静岡事業所	静岡県静岡市葵区黒金町11-7(三井生命静岡駅前ビル) 〒420-0851 TEL:054(275)0720
名古屋営業所	愛知県名古屋市中区新栄町2-9(スカイオアシス栄) 〒460-0004 TEL:052(957)5308
大阪営業所	大阪府大阪市北区西天満2-4-4(堂島関電ビル) 〒530-8565 TEL:06(6365)4520 TEL:06(6365)4503
北陸事業所	石川県金沢市広岡3-1-1(金沢パークビル) 〒920-0031 TEL:076(231)4464
広島営業所	広島県広島市中区鉄砲町7-18(東芝フコク生命ビル) 〒730-0017 TEL:082(224)6261
四国事業所	香川県高松市林町1509番地 〒761-0301 TEL:087(815)3585
福岡営業所	福岡県福岡市博多区店屋町1-35(博多三井ビルディング2号館) 〒812-0025 TEL:092(271)1350
お客様相談室	(東京) 03-5521-0505 (大阪) 06-6365-4133

「クレガーレ」ホームページ http://www.sekisui-kenzai.com/

●印刷のため、実際の色と若干異なる場合があります。●記載されている仕様は、改良のため予告なく変更する場合があります。

SEKISUI SYSTEM DECK

cregare

セキスイ床化粧材「クレガーレ」

SEKISUI 積水化学工業株式会社

http://www.sekisui-kenzai.com/

資料No.
LEX0105
'03.1.(初版)
'13.10.SS